

ヤマザクラ通信

vol.29

ヤマザクラ課（ヤマザクラグループ）
 (☎58) 5111・753111 内線1321・1322

桜川のサクラの歴史

桜川のサクラは、古来より「西の吉野、東の桜川」といわれ、吉野山と並びヤマザクラの里として親しまれてきました。

平安時代の歌人紀貫之は、「後撰和歌集」にて

常よりも 春辺になれば桜川
 波の花こそ 間なく寄すらめ

と詠んでいて、遠く平安京まで、桜の名所として知れ渡っていたことが分かります。

室町時代になると、世阿弥作「謡曲 桜川」によって、桜川のサクラは更に広く全国に伝わっていきました。

江戸時代には、歴代将軍により、隅田川堤をはじめ、現在の皇居や上野山、新宿御苑、小金井などの江戸各所に多くの苗木が移植され、その数は



桜川のサクラ 天然記念物指定記念碑

およそ2万本にのぼるといわれています。

このことから、江戸の花見の名所づくりには桜川のサクラは欠かせない存在であったことが分かります。

また、水戸黄門として全国的にも有名な徳川光圀公は、櫻川磯部稲村神社に度々訪れ、桜川のサクラを気に入り、偕楽園の前を流れる川のほとりにサクラを移植し、その川に「桜川」と名前を付けまし



個性豊かなヤマザクラ

た。そして、明治時代に入ると、市出身の俳人である石倉翠葉や、日本植物学の創始者三好学博士による研究や調査により、桜川のサクラは再び注目され、大正時代に国指定の名勝、昭和時代に国の天然記念物に指定されました。一斉に咲き誇るソメイヨシノとは対照的に、ヤマザクラは開花時期もそれぞれ違い、花の形や色など、一本ごとに個性があり、春には色鮮やかな里山の景色を見ることができ

sakuragawa_yamazakura フォローする ...

【公式】桜川市ヤマザクラ課
 ＊ヤマザクラ55万本の里 桜川＊
 桜川市の魅力や情報を発信します！

ヤマザクラ課
インスタグラムを開設

市内のヤマザクラをはじめ、多くの魅力を広く発信するため、ヤマザクラ課のインスタグラムを開設しました。春には、ヤマザクラ55万本の里として親しまれている本市のサクラの名所の紹介や、季節ごとに市の魅力を随時発信していきます。

また各種イベントの情報発信も行っていますので、ぜひフォローをお願いします。

稲川優子税理士事務所
 桜川市真壁町桜井765-2
 ☎0296-54-1540
 HP <https://ina-tax.tkcfnf.com/>

糖尿病専門医・内分泌代謝科専門医
県西糖尿病内分泌内科クリニック
 院長 榎田 武史

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 8:30 - 12:30	○	○	○	○	○	14:00まで
午後 14:30 - 18:30	/	○	○	/	○	日・祝休診

筑西市成田678番地(筑西警察署斜め向かい) 電話:0296-48-9609
 予約制のためお電話でのご予約をお願い致します